

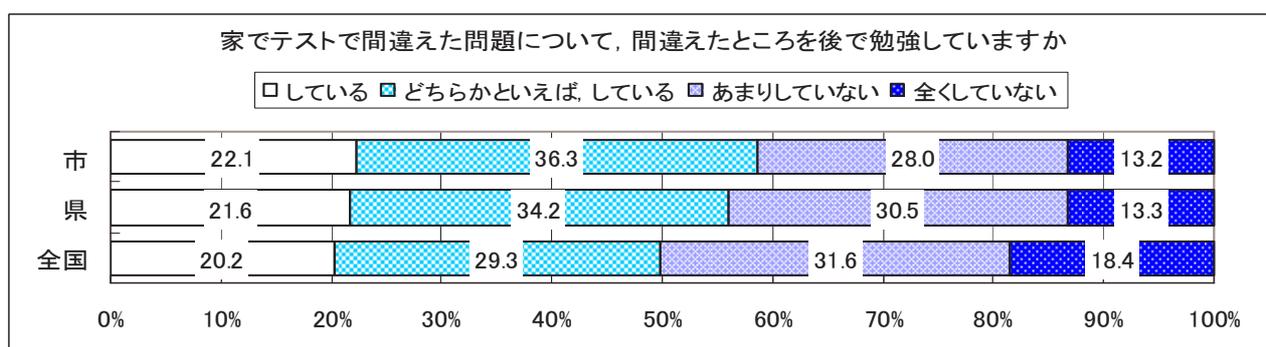
児童の生活習慣等に関する調査の結果

小学校

概況： 小学校の回答状況を見ると、全校や県との回答に類似した傾向を示している。その中で特徴ある項目については、下記に掲載した。携帯電話の使用について問題点が見られる。

また、①「家で学校の宿題をしている。」②「家で学校の授業の復習をしている。」③「家でテストで間違えた問題について勉強している。」④「新聞やテレビのニュースなどに関心がある。」⑤「友達との約束を守っている。」⑥「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。」と答えた児童の平均正答率が高くなっている。

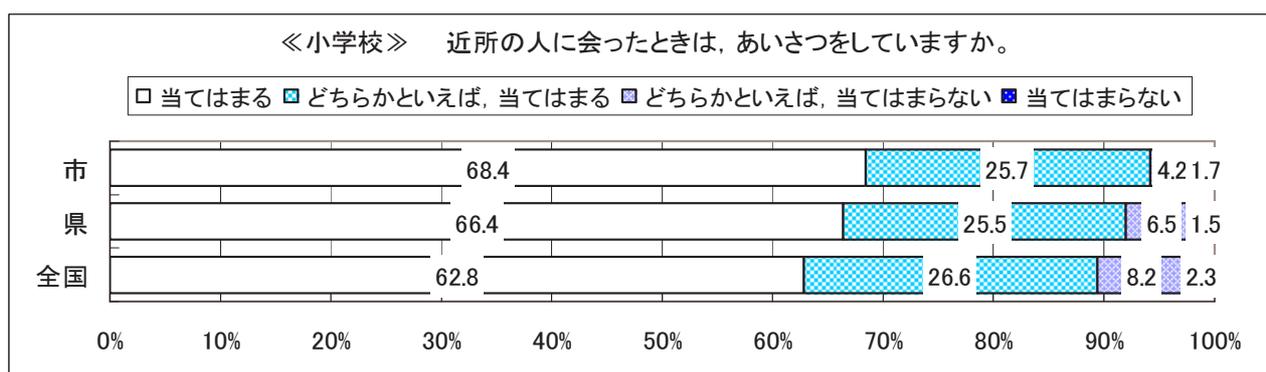
家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している。



○全国・県よりも、間違えた問題の復習をしている割合が多い。

○平均正答率で「後で勉強している」「どちらかといえば、している」のグループが「あまりしていない」「まったくしていない」のグループより高い傾向にある。

近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。

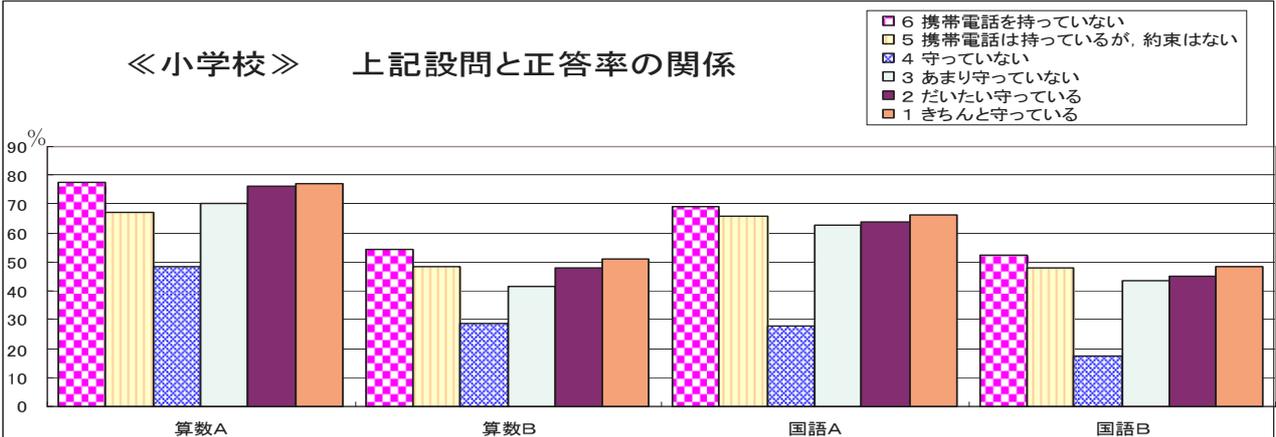
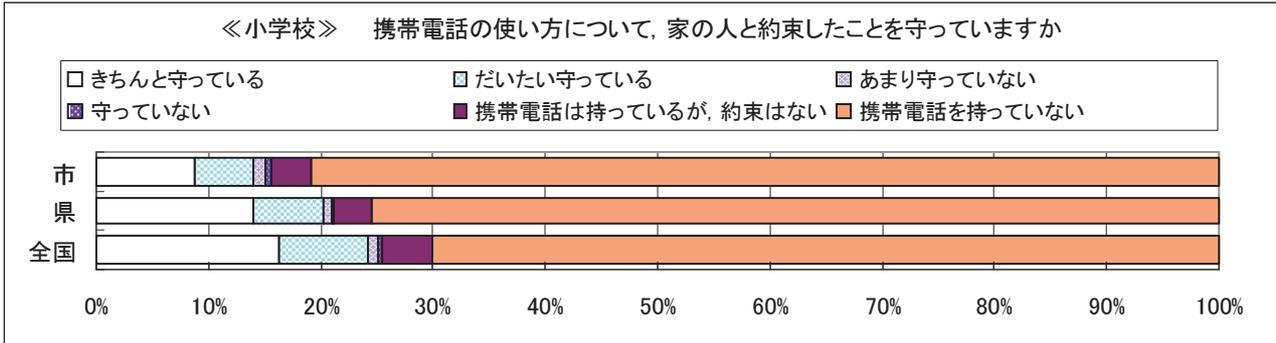


○近所の人へのあいさつは、全国・県平均に比べてよい値を示している。積極的なコミュニケーションが、学習の意欲とつながっている。

生活習慣や学習習慣を改善するスローガン

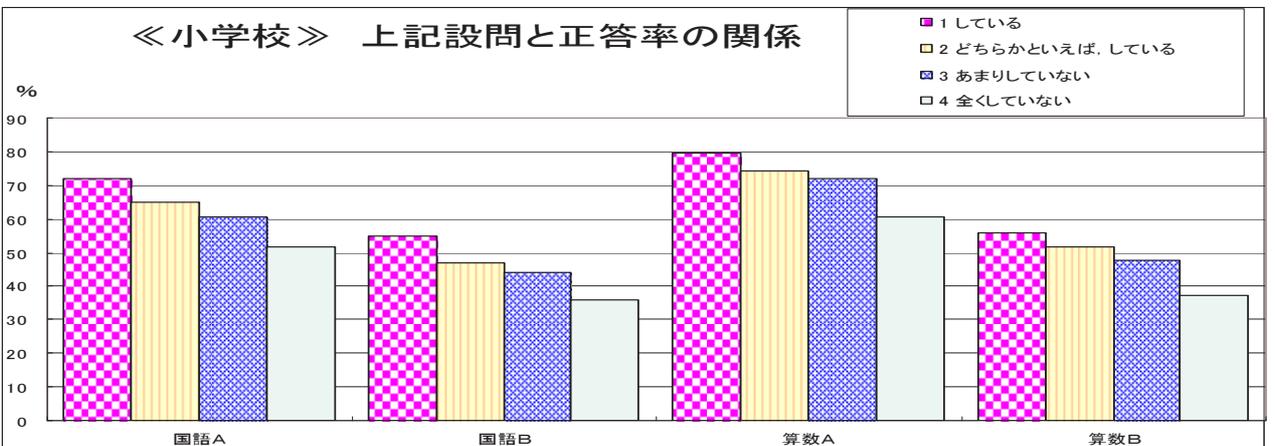
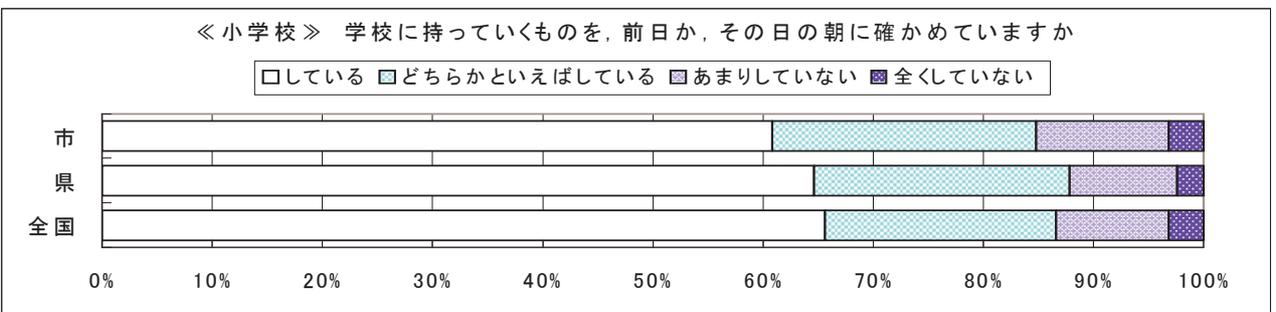
○ 決められたルールは、きちんと守り、明日の準備をしよう。

携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



○「きちんと守っている」や「だいたい守っている」と回答したグループの正答率が高い傾向にある。また、どのテストでも携帯電話未所持のグループが、所持するグループより正答率が高い。

学校に持っていくものを、前日か、その日の朝に確かめていますか。



○学校に持ってくるものを前日に用意する児童の割合が県、全国よりも低くなっている。国語・算数ともにA・B問題の正答率は、「準備をしている」と答えている児童のほうの正答率が高くなっている。